

100,000,000円

(自ら考え、自ら行う地域づくり事業)

ふるさと創生事業

検討会スタート

検討会 会長に妹尾 衛氏
職務代理者に川上卓雄氏
を選任



特集号

発行者
鳥取県江府町
電話江尾代75-2211
編集 総務課
印刷 (有)富士印刷

皆さんに いま一度
参加の機会を!

ふるさと創生事業

(自ら考え、自ら行う
地域づくり事業)

このたび私共二十一名のものがは
からずも検討会の委員として『ふる
さと創生事業』に参画することにな
りました。

本事業はマスコミ等でも話題とな
り皆様の関心も非常に高い事業であ
り、その責任の重大さを痛感してお
ります。

検討会としては町長の要請に基づ
き、検討作業に入りましたが、皆さ
んからお寄せいただいたアイデー
アをもとに一億円の夢の輪をもう
ひと回り大きく育てたい、というこ
とになり、再度提案なり要望をいた
だくことといたしました。農作業等
お忙しい折とは存じますが、ご協力
をいただきますようお願い申し上げ
ます。

今後精力的に会合を重ねて十二月
上旬には答申をまとめたいと考えて
おります。

自ら考え、自ら行う地域
づくり検討会

会長 妹尾 衛

『ふるさと創生事業』提案内容一覧表 (同じ主旨のご提案はまとめております)

| 事業名 | 概要説明 |
|-------------------------------------|---|
| 集団活性化事業 | 集落活動の拠点となる公民館・集会所の施設整備、備品整備を行う。特に集落間における整備水準には、相当の格差が認められるので、その是正も行われたい。 |
| 総合公園の造成 | 江尾城山、兎山を史跡公園として整備する。舟谷川の護岸に桜並木を造る。川上製綿所付近に大型水車を復元させる。 |
| 江尾駅総合開発ビジョン作成 | 江尾駅を多目的機能を持たせた総合センターとする。切符売り場、タクシー待合室、バス待合室、喫茶コーナー、中央公民館、社会福祉協議会、地区集会所、観光案内所、役場支所、特産品販売所etc 駅跨線橋をエスカレーター化する。 |
| 若者用住宅の建設促進 | 人口増加対策として緊急な課題である。 |
| 工場誘致対策 | 他の自治体と比較し立ち遅れが目立つ、早急に受皿造りを整備する必要がある。 |
| ゴルフ場の誘致 | 雇用対策として取り組む。 |
| 高齢者用雇用対策施設 | 高齢者の生きがい対策も盛り込んだ施設の整備を促進する。 木工品、陶芸品、竹製品、漬物 |
| 健康マラソン大会の開催 | 町内観光地をスタート、ゴールとするコースを設置して大型の大会を開催する。 |
| ゴミ焼却場の余熱利用による温泉プールの建設 ホテルと河鹿の里復活 | 住民の健康増進対策として温水プールまたは大浴場を建設する。 |
| 歴史民俗資料館の誘客対策 | 駐車スペースの確保。蜂塚氏の銅像建立。 |
| 遊園地の設置 | 上ノ段広場、船谷川を工夫して子供の遊び場を確保する。 |
| 休耕田の利活用 | 観光農園、市民体験農園として開放できないか。 |
| 観光地としての拠点整備 | チロルの里PR作戦、俣野川発電所、猿飛湖の周辺整備、釜こしき溪谷遊歩道整備、御机城山ロープウェイ。 基金積み立ての運用益で道路、レジャー施設、文化施設案内板等整備充実を図る。 |
| 甘酒茶屋リフレッシュ計画の作成 | 甘酒茶屋の経営分析を行い公営企業としての経営戦略を確立する。 |
| 人材養成事業 | 中学校に外国人英語教師を配置し、語学力を高め国際社会の対応を図る。 国際化社会に対応し基金収益で永続的な海外派遣事業を行う。民間組織として国際交流協会を組織育成する。 |
| 特産品の開発 | 山芋、エノキダケ他 |
| 江府町民栄誉賞の制定 | 日本一を対象にして町民への周知とやる気を育てる。 |
| 自然遊歩道 | 作州から大山寺に至る旧大山道を整備復旧し学校遠足、家族連れの |

| | |
|-----------------------------------|--|
| 管内図の整備 | ピクニックの利用に供する。史跡としての保存価値を認める。 |
| 漫画図書館 | 今後のあらゆる事業展開に備え1/50000～1/500の現況図を作成する |
| 公園墓地造成 | 近年の漫画ブーム（漫画文化と言っていい）にあやかり、全国にアピールできるクラスの漫画図書館を建設する。 |
| ふるさと創生基金 （運営は、委員会の自主性に 任せる） | 江府町出身者を対象として行い、帰省客の利便と増大を図る。 |
| | 生涯学習塾推進 基金運用益で社会教育諸団体、明德学園、青少年育成活動、図書館の充実etcを助成する。 |
| | 地域後継者対策 基金運用益で海外を含めた研修派遣事業、都市と農村の交流事業を推進する。 |
| | 地域活性化対策 町民参加による手作りの中期、長期ビジョンを策定する。 |
| 都市と農村の交流 | |
| 水資源確保事業 | 工場誘致、リゾート開発、上水道、下水道など水の需要は増大するばかりです。水資源の調査をし、将来に備える。 |
| 町と村の交流定着化事業 | 事業主体 1億円の基金運用益で運営する第三セクター「ふる里公社」（仮称）を設立する。 目 的 過疎と高齢化の進む山村の優れた自然条件と荒廃する農地を活用し、都市在住者に安らぎと生産体験の場を与え相互理解と触れ合いによる人間性の涵養に寄与し山村の経済効果と活性化を図り国民的安住権を創設する。 |
| 江府町PR誌作成 | 江府町の観光、特産品、町勢要覧の内容を冊子にまとめたヤングと女性をターゲットした「旅」情報誌風の仕上がりとする。 |
| チロルの里文化会館、福祉会館設計委託業務 | 1億円の投資をすることによって日本一はもちろん世界に誇れる建物を目指す。 |
| 温泉源探査ボーリング事業 | 数年後は湖底となる予定のところから古くから泉源があるらしいとの話を聞いていたのを思い出した。ダムと温泉宿がセットできれば夢のような話です。 |
| 郷土民謡・わらべうたの採譜保存について | 時代の移り変わりにより影を薄めていく郷土民謡・わらべうたを採譜し後世に残したい。 |
| バス購入 | 町行政、社会教育、社会体育、福祉などフリーに使用できるもの。 |
| 土地管理銀行の設立 | 高齢化社会の進行する中で農地の荒廃を防ぎ効率的土地利用を進めることを目的にした土地管理銀行（仮称）を組織する。 |
| チロルの里PRおよび物産直売所の建設 | 甘酒茶屋周辺においてチロル風で素敵直売所を建設し地域の特産物、チロルグッズ、日用品を販売し入り込み客の増大とチロルの里のPRを行う。 |
| 宝くじの発行 | 役場建設資金を目的とした江府町独自の自治宝くじを発行する。 |
| 自然景観整備 | 奥大山を中心とした地域の電柱地下埋設、道路沿林地の下草刈り取りなど手を加えた自然保護。 |
| 自然保護破壊対策 | |

いま一度 夢づくりにチャレンジを!

第1回目の検討会は10月9日役場会議室で開催され、今後の段取り等を含めた検討が行なわれ、皆さんから提案のあった内容を広く紹介しこれらの夢をさらに拡げていこうと皆さんのご要望をいただくことになりました。新規提案も含めてアイデアをお寄せ下さい。

◎募集期間 10月末日まで

◎方 法 はがき、封書、電話、ファックス (75-2389) で検討委員会事務局 (江府町役場企画開発課) までお寄せ下さい。様式は問いません。



第1回検討会 (役場2階会議室)

この子供たちのためにも
豊かで住みよい
「ふるさとづくり」を!!



● 江 府 町 ●

〔検討会委員名簿〕

| 職 務 | 氏 名 | 住 所 | 役 職 |
|--------|-------|-------|-------------|
| 会 長 | 妹尾 衛 | 西 成 | 教育委員長 |
| 同職務代理者 | 川上 卓雄 | 美 用 | 農業協同組合 |
| 委 員 | 住田 孝治 | 佐 川 | 議会議長 |
| 〃 | 加藤 憲三 | 池 ノ 内 | 議会副議長 |
| 〃 | 佐々木 正 | 洲 河 崎 | 総務常任委員長 |
| 〃 | 本高 親雄 | 新 一 | 経済建設常任委員長 |
| 〃 | 藤田 孝義 | 本 一 | 教育民生常任委員長 |
| 〃 | 遠藤 克美 | 吉 原 | 教育長 |
| 〃 | 坂口 理郎 | 日 ノ 詰 | 農業委員会会長 |
| 〃 | 道下 馨 | 本 一 | 同職務代理者 |
| 〃 | 清水 干城 | 大 河 原 | 森林組合 |
| 〃 | 藤田 幸一 | 本 一 | 商工会 |
| 〃 | 佐藤 秋寛 | 貝 田 | 老人クラブ |
| 〃 | 清水 純子 | 本 四 | 婦団連 |
| 〃 | 加藤 義也 | 御 机 | 青年団 |
| 〃 | 清水 忠良 | 袋 原 | P T A 連絡協議会 |
| 〃 | 中村眞佐雄 | 下 安 井 | 社会教育委員 |
| 〃 | 安江 久夫 | 洲 河 崎 | 民生委員会総務 |
| 〃 | 乗本 稔 | 江尾郵便局 | 学識経験者 |
| 〃 | 加藤 努 | 中学校長 | 学識経験者 |
| 〃 | 伊達 信夫 | 休 暇 村 | 学識経験者 |